

院内感染防止対策に関する取り組みについて

院内感染対策に係る基本的な考え方

院内感染を未然に防止すること、及びひとたび発生した感染症が拡大しないように科学的根拠に基づいた感染対策を実施します。患者さんおよび医療スタッフの安全を確保し、速やかに制圧、終息を図ります。

院内感染対策に係る組織体制、業務内容

院内感染対策の方針を最終決定する機関として院内感染対策委員会を設置し、毎月1回会議を行い感染管理に関する方針を検討します。感染対策の実働部隊として、感染対策チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）が、組織横断的に感染活動を実践します。

抗菌薬適正使用のための方策

感染症治療の早期モニタリングとフィードバック、微生物検査・臨床検査の利用の適正化、抗菌薬適正使用に係わる評価、抗菌薬適正使用の教育・啓発等を行うことにより、抗菌薬の適正な使用の推進を行います。

他の医療機関等との連携体制

近隣の医療施設と連携し、地域における感染対策の質向上を目指します。また、保健所、医師会とも顔の見える協力関係を築きます。

患者さんへの情報提供等

感染症の流行が見られる場合には、ポスター等の掲示物で情報提供を行います。感染防止の意義及び手指衛生・マスク着用などについて、ご理解とご協力をお願いします。



感染対策に関する疑問・ご相談は、感染対策チームまで
お気軽にお尋ね下さい。